東小だより

学校だより11月号
令和８年10月30日
昭島市立東小学校
校長　鈴木　正樹

優しさと思いやりがあふれる学校を目指して

校長　鈴木　正樹

秋も深まり、朝夕の冷え込みに季節の移り変わりを感じる頃となりました。子供たちは、日々の学習や学校生活に意欲的に取り組んでいます。

さて、11 月は今年度２回目の「ふれあい月間」です。本校では、子供たちが互いのよさを認め合い、誰もが安心して過ごせる学校づくりを目指しています。何気ない言葉が友達を励ますこともあれば、傷付けてしまうこともあります。自分の言葉や行動が相手にどのように伝わるかを考え、相手の気持ちを大切にできる子供たちを育てていきたいと考えています。

学校生活では、友達との関係や学習面への不安や悩みを感じることもあります。そんなとき、一人で抱え込まず、安心して相談できる環境が大切になります。今年度から本校では、子供たちが困ったときや悩んだときに話を聞いてもらう相手を記入する「サポートカード」を導入しました。このカードには、子供自身が相談したい教職員を３名選び、その名前を記入して対象の教職員にサインをもらいます。担任に限らず、自分が話しやすい、安心できると感じる教職員を選び相談することができます。「困ったときには相談できる。」「自分を支えてくれる大人が学校にいる。」と感じ、悩みや心配事を気軽に話せるようにすることを願っての取組です。教職員全員で子供たちを見守り、一人一人の思いに寄り添いながら、小さな変化にも気付けるよう努めていきたいと思います。

我々教職員は、子供たちにとって学校が安心して自分らしく過ごせる場所であることを常々願っています。保護者や地域の皆様におかれましても、お子様の様子で気になることがございましたら、学校にお知らせください。

「ふれあい月間」の取組を通して、思いやりの心を育み、誰もが笑顔で過ごせる学校を、保護者・地域の皆様と共につくっていきたいと思います。御理解と御協力をお願いします。